

## 二之湯 真士 Profile

ニノユシンジ  
前 京都府議会議員  
2024年 京都市長候補



1979年（昭和54年）京都市生まれ、西院小学校、西院中学校、山城高校、早稲田大学（第一文学部）卒業。大学在学中から国会議員事務所にて政治の研鑽を積む。その一方で、古神道・修験道を通じて日本文化の神髄を追究し始め、現在もライフワークとする。

大学卒業後、父で参議院議員の二ノ湯さとしの秘書を経て、平成19年4月の京都府議会議員選挙（京都市右京区）で初当選。以来5期連続当選。

京都府議会では、●建設交通常任委員長、●農商工労働常任委員長、●防災危機管理・地球温暖化対策・エネルギー政策特別委員長、●予算特別委員長、●京都府行政の今後のあり方に関する特別委員長、令和元年より史上最年少で72代京都府議会副議長を歴任。自民党京都府連では、●青年部長、●広報委員長、●右京支部長、●青年局長、等を歴任。

2024年2月4日投開票で実施の京都市長選挙に出馬するため、2023年10月に自民党を離党（後に除名処分）。同12月に京都府議会議員を辞職。完全無所属で立候補した京都市長選挙では、54,430票を得票(11/6%)するも落選。

現在、株式会社ココワスの代表取締役を務め、各種コンサルタント業務に励む。その他現職として（一財）響の都オペラの祭典専務理事、自然幼稚園理事、太秦小学校PTA会長等を務める。著書に『日本復活の政治論-信じて和する-』綜合法令出版（2011年）がある。

政治活動と並行して、「文化・芸術活動」および「国際交流」が今後の社会に重要だと認識のもと、「映画」「伝統芸能」「音楽」等の各種イベントを積極的にプロデュース。学校法人瓜生山学園京都芸術大学の顧問も歴任。芸術を切り口に産業・学術等の多方面で国際交流活動を展開し、草の根から国際平和実現に努力している。

時代劇『鬼神剣サキ』を製作し、「うずまさ映画祭」を2回開催する



上賀茂神社の式年遷宮を記念して「賀茂神創生神楽」を記念奉納



イタリアのボローニヤ管弦楽団と歌手の特別演奏会を3度開催



ボローニヤを州都とするエミリアローマニヤ州を訪問し交流を約束

